

(1) 平成 21 年度全国学力・学習状況調査について

【平成 21 年度全国学力・学習状況調査実施マニュアル（文部科学省）より】

1. 調査の目的

- 国が、全国的な義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、各地域における児童生徒の学力・学習状況をきめ細かく把握・分析することにより、**教育及び教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。**
- 各教育委員会、学校等が全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、**教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。**
- 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、**児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。**

2. 調査結果について

- 本調査は、**競争を目的とするものではなく、すべての子どもたちの学力や学習状況を把握し分析することにより、教育及び教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図ることを目的とする。**
- 本調査は、学習指導要領に示す内容がどの程度身についているかを把握するものであり、対象になる学年や教科、**出題範囲が限られている。**
(小学校第 6 学年国語・算数 中学校第 3 学年国語・数学)
- 調査結果について、本調査により**測定できる学力は特定の一部**であり、学校における**教育活動の一側面**を示すものである。
- 本調査をもとに、**生活習慣や学校環境と学力との関係も分析し、改善につなげるもの**である。

3. 市内全体の調査結果・分析結果の概要

- 今回出題された問題の調査結果については、全国の結果と比較して、いずれの学年、教科においても同様な傾向がみられた。しかし、全体的には全国平均と比べ、正答率が低い傾向がみられた。
- 今回の調査結果の分析で明らかになった課題については、改善に向けて取組を進める。

4. 各教科及び質問紙調査の結果分析の概要

- 各教科について、全国の結果と貝塚市全体の傾向について、顕著な傾向がみられる課題について分析を行った。
- 児童生徒質問紙調査について、顕著な課題が見られるものについて掲載した。

※次ページより、全設問の正答率を記載しているが、その中に、全国の正答率も併記しているのは、各設問の難易度を読み取るためである。